

医学研究実施のお知らせ

当院の臨床研究審査の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

2025年2月6日作成

【研究課題名】

冠微小循環機能と冠血流予備量比で評価した日本人冠動脈疾患症例の臨床予後に関する多施設レジストリー

【研究の概要】

●研究の目的

狭心症症状と心筋虚血所見のために冠動脈造影を受ける患者の多くは、閉塞性冠動脈病変は無いに関わらず、虚血所見を示すことが報告されています。近年、微小血管狭心症(microvascular angina: MVA)と心外膜血管攣縮(vasospastic angina: VSA)が、虚血性心疾患の新たな病態生理学的メカニズムとして注目されており、MVAとVSAを含んだINOCA(ischemia and nonobstructive coronary arteries)という概念が提唱されています。過去の報告により、冠動脈疾患に微小循環障害が合併すると臨床予後が不良であることを示唆されていますが、実臨床において冠動脈疾患に微小循環障害が合併する頻度や臨床的予後は明らかではなく、病態に基づいた最適な治療法は検討されていません。

本研究では、冠動脈疾患に微小循環障害が合併する頻度や臨床的予後を評価するとともに、本邦におけるINOCAの頻度と臨床予後を検討しています。これにより本邦の実臨床において、冠動脈疾患に微小循環障害が合併した症例における最適な治療方針や、本邦におけるINOCAの実態が明らかになり、実臨床における微小循環障害に関するエビデンスを確立することが期待されます。

●研究期間

東京医科大学医学倫理審査委員会での承認後～2032年12月31日まで、研究の実施を予定しています

●対象となる方等

研究機関: 広島大学病院 循環器内科

対象となる方: 広島大学病院に狭心症の診断で入院された患者様を対象とします。

●研究に利用する情報

情報: カルテ病歴情報、血液検査や画像検査など。

●本研究に同意されない場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【問い合わせ先】(対応時間:平日 09:00 ~ 17:00)

広島大学病院 循環器内科

研究代表者:中野由紀子 電話 082-257-1569

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。